

地震後の72時間

～想像力が命を救う～

時間を想像せよ!

地震の被害は発生時刻や地震の規模によって異なります。臨機応変に行動できるように、日頃から「想像力」を鍛えて地震に備えましょう!



3人と1匹が挑む、地震後の72時間を想像せよ

1時間後

たかこ(40歳)
夫と息子の3人暮らし。会社員
発災時:仕事が終わる、電車で帰宅中

電車は運休。電話が繋がらない

ゆうと: 大丈夫?
たかこ: 無事だよ!
たかこ: 私は無事です。家にいます。

災害伝言板
無事です。職場で待機中
裕次郎

災害伝言ダイヤルや携帯電話会社の災害伝言板で家族の安否を確認

3時間後

道路が寸断されていて遠回り。もう歩けない

安全確認中
受入可
満員

一時滞在施設に指定された施設では、休憩場所やトイレ、水道水、情報等の提供が受けられます。(公共施設や大学など)

横浜市では一時滞在施設NAVIで近くの施設を検索することができます

一時滞在施設で休む

24時間後

息子は地域防災拠点に避難しているらしい

ゆうと: 友達と地域防災拠点に避難しているよ

息子のいる地域防災拠点へ向かう

72時間後

地域防災拠点で過ごす

まるで夢と希望にあふれた味のテーマパークですね

とてもおいしいです!

インターネットが使えない場合に備えて、一時滞在施設の場所を確認しておくが良いと思います。
家にいる子どもの安全確保が課題ですね

どうでしたか?

地震発生時にどこで何をしているかによっても、とるべき行動は異なります。例えば、職場や学校で被災した場合は、むやみに移動せず施設内で待機しましょう。また、施設によっては食料や飲料水の備蓄をしていますが、すぐに帰宅できない場合に備えて、職場などで食料・飲料水・常備薬の備蓄や泊まる準備をしておくことも必要です。日頃からさまざまなパターンを想像しておくこと、それに合わせて必要な準備をしておくことが重要です。

過去の教訓を生かすことも大切なことです。鶴見区では、平成28年の熊本地震での課題を受け、「鶴見区防災計画(震災対策編)」を3月中に改定します。「防災コラム」も新たに掲載されるので、ホームページなどでぜひご覧ください。

区役所防災担当 森田係長

鶴見区防災計画 検索

区役所防災担当
☎ 510-1656 fax 510-1889

ゆうと(10歳)
たかこの息子
発災時:1人で自宅

家でひとりぼっち

たかこ: 大丈夫?
ゆうと: 無事だよ!
ゆうと: 家にいるよ

災害伝言板
無事です。職場で待機中
裕次郎

パパとママに連絡

パパとママはしばらく帰れないらしい

地域防災拠点に避難するんだけど、ゆうと君も一緒に行かない?

友達と地域防災拠点に避難することに

地域防災拠点に救援物資がすぐに届かない

大きなリュックね。何が入っているの?
まあ、えらいわね~

持ってきた食料や飲料水でしのぐ

家で1人であるより、身近な大人と地域防災拠点に避難する方が安心だと思いました

パパとママに再会

どうでしたか?

としお(73歳)
一戸建てに1人暮らし。たかこの父
発災時:1人で自宅

電話が繋がらない

さびしくないよ
たかこ: 私は無事です。家にいます

災害伝言ダイヤル「171」でメッセージを録音

近所で火災が発生

そのヘッドライトいいね
一緒に避難しましょう

隣の人と公園に一時的に避難

地域防災拠点は人がいっぱい入れない。家は無事

交換しない?
私の備蓄は炭水化物ばかり...

タンパク質やビタミンもしっかりとりたいですよ

近所の火災が収まったので、近所の人と協力しながら自宅で過ごすことに

断水が続き、お風呂に入れない

お風呂入りたんだけど...
いい服だね

あそこの銭湯が営業していますよ
防寒着です

地域防災拠点で困りごとを相談

日頃からご近所さんと顔の見える関係を作っておくことが大事だと思いました。
また、困ったら地域防災拠点で相談するよと思いました

どうでしたか?

フレディ(3歳)
フレンチブルドッグ
発災時:散歩中

こわくなって走り出す

フレディ! おいで!!
ボスが呼んでるから戻ろう!

ボス(飼い主)の指示に従う

家がこわれて住めなくなった

おやつとケージも忘れずにね

ヒナンジョに行く準備をする

ヒナンジョの中でボスと別々になる

みーちゃん、久しぶり!
その胴輪、すてきだね

ありがと、じゃん

ケージの中で静かに過ごす

他の飼い主さんたちも世話をしてくれる

みーちゃん、ママは優しいなあ

みんなの言うことをよく聞く

ボスが教えてくれた「おいで・ふせ・まて」は役に立つよ。ケージに慣れおくことは大事だね。猫ちゃんは胴輪に慣れおくといいね

詳しくは、右の「飼い主の心得」を読んでね

飼主の心得

災害時にペットを守るための飼主の心得を紹介いたします

- 一緒に避難**
ペットと一緒に避難しましょう。ただし地域防災拠点によっては、ペットの受入態勢が整っていないところもあります。ペットと一緒に避難できる事前に確認しておきましょう。
- 普段以上に周りへの配慮を**
地域防災拠点では、動物が嫌いな人や動物のアレルギーを持つ人も避難します。普段以上に周りへ配慮しましょう。
- 迷子対策を万全に**
迷子になっても飼い主のもとに戻れるよう、迷子札やマイクロチップを装着しましょう。(※犬は鑑札と注射済票も)
マイクロチップは、専用の機械で飼い主の情報を確認できます
- ペットの非常持出袋を準備**
地域防災拠点には、ペット用の救援物資がすぐに届かない場合があります。ペット用の非常持出袋を準備しておきましょう。

非常フレディ
水・フード・食器 ※薬と療法食も
伸びないリード 胴輪(ハーネス)
ペット情報カード
飼い主の連絡先やワクチンの接種状況などを記載
ケージ 犬も猫も必ず用意
ペットシート類 新聞紙もあると◎

ペットも守ろう 検索

区役所環境衛生係
☎ 510-1845 fax 510-1718